

今回は、「課題分析」をテーマに講義とグループワークを行いました。

「課題分析」とは、一つの行動を細かい複数の行動に分けることです。聞き馴染みのある言葉で言うとスモールステップで取り組むということです。

例えば、保護者が、子どもの就寝時間が迫り、「もうすぐ寝る時間よ！そろそろ寝る準備をしなさい！」と指示を出した場面での「寝る準備」という行動を課題分析すると、

- ①テレビを消す→②出したオモチャをオモチャ箱に入れる
- ③出した本を本棚に戻す→④歯を磨く→⑤トイレに行く→⑥手を洗う
- ⑦自分の部屋に行く→⑧電気を消す→⑨布団に入る

など、複数の具体的な行動に分けることができます。

「寝る準備」という1つの行動を上記のように9つに分けることで、子どもにとっては格段に分かりやすくなり、1つの1つの行動を見通しを持って確実にこなすことができるようになります。

これが最初のまま「寝る準備」という1つの指示のままだったらどうでしょうか？

子どもはまず何をしたら良いか戸惑い中々行動に移せず、大人側はスムーズに行動出来ない子どもの状況に対してイライラし始める結果になる可能性が非常に高いです。

我々大人が、普段何気なく子どもたちに求めている行動や出している指示は、実はほとんどが具体性がなく分かりにくいものなのです。指示を出す大人側が一方向的に明確な流れをイメージしているだけで、それを実際に実行する子どもたちには全く具体的なことが伝わっていません。

これは、我々のような支援者の日々の関わり方にも全く同じことが言えます。

そこで今回は、課題分析のメリット(分かりやすい・達成しやすい・褒めやすい・指示を統一しやすい等)を講義を通して伝え、グループワークでは、職員が現場で実際に出している指示を課題分析してみて、子どもたちに対してスモールステップで達成しやすい指示がより多く出せるように課題分析の練習を行いました。

子どもたちが、スモールステップを使って小さな成功体験を積み重ね、意欲と自信を身につけ、大きな目標を達成できるように課題分析を上手に取り入れ、より良い支援を行っていきます。

